

下記警告サインの意味をご理解の上、
取扱説明書をお読みください。



警告

指示に従わない場合は死亡、または
重度の障害を負う可能性があります。



注意

指示に従わない場合は軽傷、または
他の財物の損傷を引き起こすこと
になります。



マークは禁止を表します。



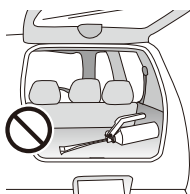
マークは強制を表します。



警告

■使用上の注意

- 点火時および使用中は、火口を人体に向けたりやのぞきこんだりしないでください。
- 使用中および使用直後は火口、火口付近が熱くなっていますので可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。
- 容器(ボンベ)は正しくセットしてください。容器(ボンベ)のセットが不十分だとガス漏れ事故の原因となります。
- 火のついたまま落したり、放り投げたりしないでください。やけど、火災のおそれがあります。
- 使用後はすぐに器具を消火し、容器(ボンベ)を必ず取外し、火元から離して置いてください。
- 器具に容器(ボンベ)を取付けたまま持ち運んだり、移動したり、保管したりしないでください。ガス漏れ事故の原因となります。



■草焼、炭の火起しの際の注意

- 炭の火起しの際は保護メガネ等をして、けが・やけどには十分気をつけてください
- 草焼の炎や炭火の真上で使用するなど容器(ボンベ)が過熱するような使い方はしないでください。容器(ボンベ)内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。
- 必ずグリップを持って使用してください。容器(ボンベ)を持って使用すると、本体バルブカバー及び容器(ボンベ)先端部の異常過熱に気付きにくくなります。また、他の器具に固定したり置いたまま使用すると容器(ボンベ)が過熱し、爆発するおそれがあります。
- 強風時での使用、また向い風での使用はおやめください。炎が本体側にかかり本体の破損、また容器(ボンベ)が過熱するおそれがあります。
- 火口で雑草をかき分けたり、土を掘り起こしたりしないでください。また火口で炭を割ったり移動させたり炭火の中に入れたまま使用したりしないでください。器具の破損、また容器(ボンベ)が過熱するおそれがあります。



バーベキューグリル
炭火の真上での使用禁止



- 手袋を着用しての使用の際は、容器(ボンベ)の異常過熱に気付きにくくなるため十分注意してください。



警告

■使用容器(ボンベ)の取扱上の注意

- 容器(ボンベ)は必ず新富士バーナー製品専用容器(ねじ込み式タイプ)をご使用ください。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。
- 容器(ボンベ)の過熱により爆発するおそれがありますので以下のような行為は禁止します。
 - ・容器(ボンベ)を火の中に投げ入れる。
 - ・容器(ボンベ)をストーブ、ファンヒーターなど熱気あたる所や直射日光の当たる場所、また高温になる場所に放置する。
- ※特に自動車内は非常に高温になりますので注意してください。
- 容器(ボンベ)が40℃以上になる場所で使用する。
- 容器(ボンベ)に強い衝撃をあたえないでください。
- 使用しない時は、容器(ボンベ)は40℃以下の湿度の少ない場所にキャップをして保管してください。また容器(ボンベ)はときどき点検して錆が発生している場合にはできるだけ早く使用してください。



■使用済み容器(ボンベ)の処理に関する注意

- 容器(ボンベ)は完全に使いきってから他のゴミと区別して捨ててください。(各自治体の処理方法に従って捨ててください。)



注意

■取扱上の注意

- 換気の十分な場所で燃えやすい物や熱に弱い物からは十分離れた場所で使用してください。
- 風の強い時は使用しないでください。
- 火災は思いもかけぬことから発生することがありますのでご使用の際は、火の元に十分ご注意ください。
- ご使用にならない時は必ず容器(ボンベ)を取外して保管してください。
- お子様の手の届かない所に保管してください。
- お子様には使用させないようにしてください。



■使用容器(ボンベ)

Shin Fuji Burner ハイパワーガス KB-860

- 吸収体構造により逆さ使用可能。
- ネジ込み式により安全装着。
- 強耐圧缶仕様により安全使用。

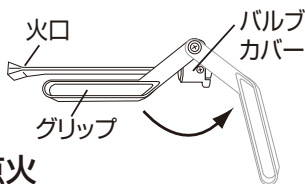


※販売店にない場合は当社お客様係フリーダイヤル
☎ 0120-75-5000 までご相談ください。

E メールでの問い合わせ先: info@shin Fuji.co.jp

使用方法

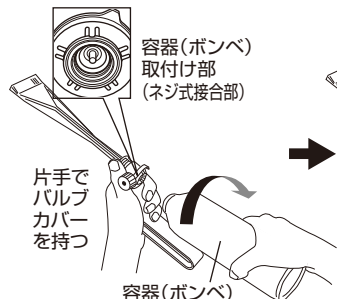
■点火前の準備



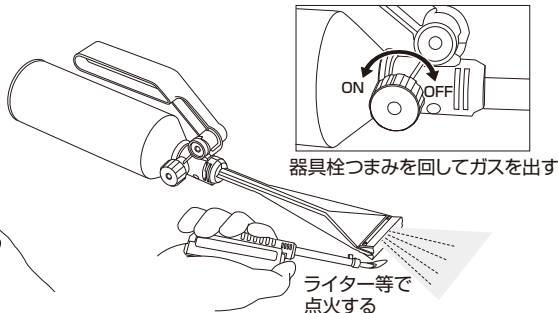
「カチッ」

グリップを図のように「カチッ」というまで回転させ固定します。
※指をはさまないように注意してください。

■点火

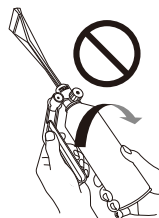


容器(ボンベ)



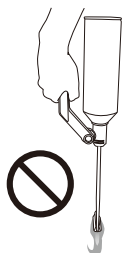
1. 器具栓つまみをOFFの方向(右)へ回らなくなるまで回し完全に閉じていることを確認します。
2. 容器(ボンベ)先端部を本体の容器(ボンベ)取り付け部(ネジ式接合部)に正しくセットして矢印方向(右ネジ)に自然に止まる程度よりややきつめに締めます。
※この時強く締めすぎると本体が破損したり、容器(ボンベ)の先端部が破損または変形しガスもれやガスが出にくくなる場合がありますので注意してください。
3. 器具栓つまみをONの方向(左)へ約180度回しガスを出します。
4. 先の長いライター等で火口の横から点火します。
※必ず火口の横から点火してください。火口の正面から点火すると、炎が手にかかりやけどをするおそれがあります。
※ガスを出したら速やかに点火してください。
5. 器具栓つまみで火力調整をします。

⚠ 注意



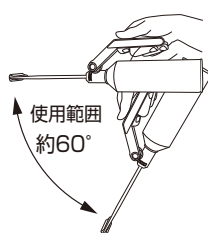
グリップを持って容器(ボンベ)の取り付けをしないでください。本体が、破損するおそれがあります。

⚠ 警告



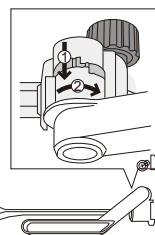
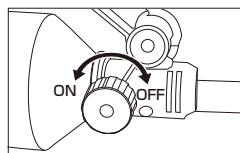
火口を真下に向けて連続使用しないでください。火口からの火炎や熱気が本体やボンベにかかり危険です。

⚠ 注意



安全のため火口は図のように、水平より下向きに約60°の角度の範囲内で使用してください。

■消火



1. 器具栓つまみを OFF の方向(右)へ回らなくなるまで回し完全に閉じます。
2. 完全に消火したことを確認後、本体から容器(ボンベ)を取外します。
3. 火口が十分冷めたことを確認し、グリップを図のように折りたたみ収納します。

※火気のない所で消火してください。
※火口を水につけるなどして急に冷やさないでください。火口の劣化や破損のおそれがあります。
※指をはさまないように注意してください。

⚠ 注意

使い初めの容器(ボンベ)を使用する時や35℃以上の高温時には生ガス(気化していない白い霧状のガス)が出て炎が大きく立ち上がることがあります。その際は火のついたまま容器(ボンベ)を垂直に立て、生ガスが出なくなるまで2~3分間燃焼させてから使用してください。

◆日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れは必ず行ってください。
- 点検・手入れは消火し、容器(ボンベ)を取外し火口、火口付近が完全に冷めてから行ってください。
- 故障又は破損と思われるものは絶対使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店または、当社お客様係フリーダイヤル ☎ 0120-75-5000 までご相談ください。

取扱説明書

使用前に
取扱説明書を
必ずお読みください。